

1 はじめに

この度は SH1816B/SH1824B スイッチングハブをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は SH1816B/SH1824B スイッチングハブの取り扱いの基本的なことについて説明しています。

梱包物を確認してください。

● SH1816B/SH1824B スイッチングハブ	
● 取扱説明書 (CD-ROM)	1 枚
● SH1816B/SH1824B 専用電源ケーブル	1 本
● ゴム足	4 個
● ラック取り付け金具	2 個
● ラック取り付け専用ネジ	4 (8)個

万一、不備な点がございましたら、恐れ入りますがお買い求めの販売店までお申し付けください。

本製品の特長

- 本装置は、10BASE-T/100BASE-TX 自動切り換えによるイーサネットスイッチ間でパケットスイッチングを行うスイッチングハブです。
- 高速な伝送が可能な 10M/100Mbps イーサネット技術により、高性能な LAN システムを容易に構築することができます。
- TELNET サーバ機能、TFTP によるリモートファイルメンテナンス機能、SNMP エージェント機能などにより、ネットワークを介した遠隔保守や障害解析が容易に行えます。

本書の取扱について

本書には本装置を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。

本装置を使用する前に本書を熟読してください。特に本書に記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解された上で本装置を使用してください。また、本書は本装置の使用時、いつでも参照できるように大切に保管してください。

お客様の生命、身体、財産に被害をおよぼすことなく弊社製品を安全に使っていただくために細心の注意を払っています。本装置を使用するには、本書の説明に従ってください。

商標及び登録商標について

Microsoft[®] 及び Windows[®] は、米国 Microsoft Corporation の、米国及びその他の国における登録商標または商標です。また、その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

グリーン製品について

本製品は当社の厳しい環境評価基準をクリアした地球にやさしい、環境への付加の少ない「グリーン製品」です。このマークは富士通株式会社のグリーン製品評価基準に適合したグリーン製品に表示しています。

- ・主な特徴
 - 省資源化
 - 再生紙利用
 - 高資源化率



いつも地球を見守っている

※富士通の環境への取り組みについての詳細は、富士通ホームページ「環境のコーナー」(<http://eco.fujitsu.com/jp/>) をご覧ください。

1.1 安全のために

記号	記号の意味
	〇〇注意：注意事項を示しています。この注意事項を無視した場合、障害・物的損害の可能性が想定されることを示しています。
	感電注意：誤った取扱をすると、感電する可能性が想定されることを示しています。
	分解禁止：装置の分解改造をすることの禁止を示しています。装置の分解・改造により、障害・物的損害の可能性が想定されることを示しています。
	水場禁止：水分の多い場所での使用を禁止しています。水場での使用により、障害・物的損害の可能性が想定されることを示しています。
	〇〇禁止：禁止行為を示しています。この禁止行為をすることにより、障害・物的損害の可能性が想定されることを示しています。
	プラグを抜け：電源プラグをコンセントより抜くことを指示しています。
	アースせよ：装置を必ずアースに接続することを指示しています。
	〇〇せよ：指示行為を示しています。使用者に行って頂きたい行為を示しています。



警告

下記の注意事項を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

購入

 水場使用禁止	<p>本装置に水が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。</p>
 感電注意	<p>表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。</p>
 使用禁止	<p>電源プラグの電源容量を満たす専用コンセントへ直接接続してください。延長コードは加熱・発火の危険があるので使わないでください。</p>

設置

 禁止	<p>電源ケーブルは同梱の物を使用してください。また、同梱の電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。</p>
 禁止	<p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、加熱されたり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。</p>
 感電注意	<p>電源プラグをむやみに抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p>
 AC100V 以外禁止	<p>タコ足配線をしないでください。火災・加熱の原因となります。</p>
 電源プラグ の差込み	<p>電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。</p>
 異物禁止	<p>開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。</p>
 電源投入時	<p>本装置は、電源投入時に瞬間的に最大で約 30[A]の電流が流れることがあります。通常は、この電流がブレーカに影響を与えることはありませんが、本装置を設置するときは、設置環境を充分考慮した上で行ってください。</p>
 段積み禁止	<p>本装置を段積みしないでください。段積みになると高温になり故障の原因となります。</p>

使用方法

 上積み禁止	<p>本装置の上や近くに花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。装置内部に異物が入った場合、火災・感電・故障の原因となります。</p>
 薬品注意	<p>本装置に殺虫剤やヘアースプレーなどがかからないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>本装置の上に座ったり踏み台として立ったりしないでください。けが・火災・感電・故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。</p>
 分解禁止	<p>本装置を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。</p>
 使用注意	<p>本装置に、仕様で許されている構成品以外の機器を実装、または接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。</p>
 アースせよ	<p>落雷などによる大電流が電源線などを通して本装置を破壊し、思わぬ事故の原因となります。本装置の破壊の予防として、アース工事およびアース設置を必ず行ってください。また、雷が発生している場合、可能な限り電源プラグをコンセントから抜いて使用を控えてください。</p>
 異物禁止	<p>開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。</p>

保守点検

 使用注意	<p>本装置の内部点検・修理は、保守員が行います。お買い上げいただいた担当営業に依頼してください。</p>
 ほこり注意	<p>電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因となります。</p>

異常時の処置について

 使用注意	<p>電源ケーブルや通信ケーブルなどが傷んだら（芯線の露出断線など）、お買い上げいただいた担当営業、または保守員に連絡してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。</p>
 異物禁止	<p>万一、異物や水などが本装置の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げいただいた担当営業、または、保守員に連絡してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。</p>
 プラグを抜け	<p>万一、煙が出ている、へんな臭いがする場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げいただいた担当営業、または保守員に連絡してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。</p>
 使用注意	<p>万一、本装置を倒したり、落したり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げいただいた担当営業、または保守員に連絡してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。</p>



注意

下記の注意事項を守らないと、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害だけの発生が想定される内容を示しています。

設置

 ラック固定の確認	本装置を 19 インチラックに搭載する場合、あらかじめ 19 インチラックの下部にあるレベルフットを床面と接触するまで回し、床に確実に固定されたことを確認してから搭載作業を行ってください。けがの原因となることがあります。
 塵埃環境使用禁止	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。装置にほこりなどが付着すると放熱特性が低下し、火災・感電・故障の原因となります。
 高温設置禁止	湯煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそばなど）には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 高温設置禁止	直射日光の当たる場所や湿度の高い場所に置かないでください。内部の温度が上昇し、火災・故障の原因となります。
 高温・低温使用禁止	極端な高温あるいは低温環境や温度変化の激しい場所に置かないでください。結露し、火災・感電・故障の原因となります。
 不安定場所設置禁止	不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）、振動や衝撃の加わる場所に置かないでください。けがの原因となります。
 ガス環境使用禁止	薬品の雰囲気中や薬品の触れる場所に置かないでください。腐食などにより、火災・感電・故障の原因となります。
 強磁界環境使用禁止	強い磁界を発生する装置（モーターなど）のそばに置かないでください。故障の原因となります。
 配線注意	電源ケーブルを熱機器に近づけないでください。ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。
 引っ張り禁止	電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブル部分を引っ張ると傷ついて、火災・感電の原因となります。
 プラグを抜け	本装置の移動は、電源プラグをコンセントから抜き、各機器との接続ケーブルをはずしたことを確認してから行ってください。各種ケーブルが傷つき、火災・感電・故障の原因となります。
 通気性注意	本装置の通気孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります。

保守点検

 水場使用禁止	<p>本装置に水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。放置すると、火災・感電・故障の原因となります。</p>
 薬品注意	<p>本装置が汚れたら柔らかい布で乾拭きしてください。装置に埃などが付着すると放熱特性が低下し故障の原因になります。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤のご使用は避けてください。機器が腐食溶解などして、火災・感電・故障の原因となります。</p>
 薬品注意	<p>清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないで下さい。本装置の清掃にあたっては、水（または、水で薄めた中性洗剤）を含ませた布を固く絞って拭き取って下さい。拭き取りのときに、本製品のスイッチ類やすきまなどに、水が入らないように十分にご注意下さい。</p>

廃棄時の処置について

 廃棄注意	<p>本装置類を廃棄する場合は、一般廃棄物として捨てないでください。廃棄時は、お買い上げいただいた担当営業、保守員に相談するか、または管轄の自治体（区市町村役場など）に連絡して、しかるべき業者に廃棄を依頼してください。守らないと、環境を破壊して第三者の身体や財産に損害を与える原因となることがあります。</p>
---	---

留意事項

 ラック搭載時の注意	<p>本装置を19インチラックに搭載する場合は、本書2.3.2「19インチラックへ取り付け」をご参照ください。守らないと、故障の原因となります。</p>
 近傍設置禁止	<p>ラジオやテレビのそばで使用しないでください。ラジオやテレビの側で使用するとラジオやテレビに雑音が入ることがあります。</p>

1.2 取扱説明書で使用される用語など

用語の説明

- 構成定義情報
装置の運用に関する設定情報を示します。
- IP アドレス
IP アドレスは、装置を IP ホストとして使用する為に必要なアドレスです。本装置に IP アドレスを付与する場合には、ネットワーク管理者にご相談ください。IP アドレスが他の装置と重複しますと、ネットワークトラブルの原因となりますのでご注意ください。
本取扱説明書中の IP アドレスの表記例を以下に示します。

XXX.XXX.XXX.XXX

- MAC アドレス
本書で使用している MAC アドレスは、実際には存在しない MAC アドレスを使用しています。従って本取扱説明書と同じ MAC アドレスは、装置に入力できません。本取扱説明書中の MAC アドレスの表記例を以下に示します。

XX:XX:XX:XX:XX:XX

前提知識

本製品及び本取扱説明書をお使いいただく上で以下の前提知識を必要とします。

- LAN (Local Area Network) IEEE802.3/Ethernet 規格、または同程度の知識を有していること。
- TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) の知識を有していること。
- ブリッジ及び STP (Spanning Tree Protocol) 、または IEEE802.1D 規格、または同程度の知識を有していること。
- SNMP (Simple Network Management Protocol) 及び MIB (Management Information Base) についての知識を有していること。

1.3 取扱説明書の構成と内容

本取扱説明書は、本装置の機能・設定・運用などに関して記述されています。本書は、以下のよう
に構成されています。

第1章 はじめに（本章）

第2章 装置の導入（現調作業について）

第3章 装置の機能

第4章 装置の操作

第5章 ネットワーク構成例

第6章 トラブルシューティング

第7章 使用環境

第8章 付録

1.4. 現地調整作業について

2章は、本装置の設置から運用まで（現地調整作業）の流れに沿って記述しています。

以降の流れに従って、設置から運用までの作業を実施してください。
弊社保守員へ現地調整作業を委託した場合の作業内容になっております。

第2章 装置の導入(現調作業について)

2.3 装置の設置

2.3.1 自立設置

2.3.2 19 インチラックへ取り付け

2.3.3 保守スペース

2.4 装置の立ち上げ

2.4.1 10BASE-T/100BASE-TX ポートの接続

2.4.2 コンソールポートの接続

2.4.3 電源投入

2.4.4 立ち上げ確認

2.4.5 初期設定